

館山移住かわら版 第2号

ついにオーブリン！ 移住情報WEBサイト！

館山へ移住.COM

ついにその姿をWEB上に現した、館山商工会議所青年部創立50周年記念事業の一環として作成されたホームページ「館山へ移住.COM」。このホームページは、館山へ移住・二拠点居住をお考えになられている方々に、我々が少しでもお手伝いできないか？と考え立ち上げた、言わば館山市民の「おせっかい心」がいっぱい詰まったホームページです。このホームページの中には、移住・二拠点居住をお考えの方々のため、少しでも役に立ちたい一生の情報を届けたい！という市民が集まり結成した、「移住お手伝いネットワーク」が存在します。その名も「おせっかい」。館山商工会議所青年部員のみならず、館山市内隅々に散らばった「おせっかい隊員」が、移住・二拠点居住をお考えの皆様と色々とアドバイスをしたり、館山へ視察にお越しの際には、皆様のために「おせっかい」を焼くという館山市民独特の「おもてなし」の心で、皆様と一緒に移住を考えよう！成功させよう！という市民ネットワークです。例えば、館山に住みたいんだけど、どんなところがいいのかな？一回旅行がてら視察したいんだけど、オススメの場所を教えてくださいませんか？古民家を改装して住みたいんだけど、いい大工さん紹介してくれないかな？「なんと言つて要望にも、我々お手伝いネットワークは市内の色々な業種が集まっているので即座に対応が可能です。もちろん、晴れて移住された方々にも、生活していく上で色々困ったことがあると思います。そんな時も、「お手伝いネット

ワーク」がもちろん「おせっかい」を焼かせていただきます。有名な「南総里見鶯見伝」に例えて言えば、移住者の皆様は「伏姫」、我々おせっかい隊員は、「八犬士」！姫の危機のときは、市内に散らばっている八犬士たちが即座に駆けつけ「おせっかい」を焼かせていただきますよ。

お手伝いネットワークの他にも、館山市で生活する上での色々な情報や、館山のちょっとした風景、市民の生活等の写真を載せたアルバム、先輩移住者の体験談や、移住者が語る日々のブログ、館山市役所移住担当者のブログ、おせっかいネットワークのブログ、館山市内の不動産情報等、生の情報満載のホームページに仕上がっております。随時色々な情報を更新していきますので、一度アクセスして我々のふるさと館山をもっと近く感じてみませんか？

アドレスは・・・
<http://www.tateyamaheijyu.com>
または、館山へ移住.COMで検索！



青い空と海・・・
緑の山々・・・
館山に住んでみませんか？

館山商工会議所青年部創立50周年記念事業
定住・二拠点居住お手伝いネットワーク「おせっかい」
館山へ移住.com
<http://www.tateyamaheijyu.com/>

老夫婦のセカンドライフ

ある日の夕方、北条海岸で海を眺めていたら、海岸を散歩する老夫婦を見つけた。ゆっくりとマイペースで長い海岸線を、夕日を浴びながら一人で歩いていく姿に思わず写真を撮った。ときおり立ち止まり、貝殻などを拾ったり、夕日を眺めながら二人で話しをしたりと、とても楽しそうにお散歩していました。私の車の近くまで来たときに、声をかけてお話しを聞いてみました。



二人で
夕方に
1時間で
ほぼ北

糸棧橋までの散歩を楽しんでいるそうです。海岸を歩くようになって十五年以上、整備により砂浜も広くなって歩きやすくなった反面、砂浜に乗り入れる自動車比以前より増えたり、海岸を利用する観光客の残っていた空き缶やゴミがだいぶ増えたとおっしゃっていました。ただ、海に向かうに見える富士山の姿や、夕日の美しさは昔と変わらないね、「とにこやかな笑顔でお話していました。ゴミ等の海岸汚染、観光地ならではの永遠の問題です。ゴミはゴミ箱にすてる「こんな当たり前の行動をひとりひとりが意識していれば少しずつこの海岸もきれいな砂浜に変わっていくと思います。まず、できることから始めてみましょう！

安心して生活できる まちを目指して

館山市では、携帯電話などの端末を利用し、市内の緊急情報などを配信するシステム「館山市安全安心メール」というものがあります。あらかじめお使いの携帯電話などから、メールアドレスを登録するだけで、さまざまな緊急情報などをいち早く受信することができます。配信される緊急情報は、災害などによる避難情報や津波、大雨などの警報、不審者や、行方不明者などの防犯情報、火災発生に関する情報など、まさに今市内で起きているさまざまな生の情報を入手できます。もちろん、氏名や住所等の個人情報登録する必要はありませんので安心ですし、登録料や情報料も無料（ハケット通信料はかかります）です。将来館山に移住されて、万が一の時でも冷静に対応できるようにさまざまな情報を得られるツールとしては是非「活用されることをおススメいたします！」

館山ママ知蔵とその子 イチゴ狩り



年明けから、春にかけての「館山の顔」と言えばもちろん「イチゴ」でしょう。毎年1月から5月の「フルーツ狩り」期間、市内に2箇所ある大きなイチゴ狩りセンターでは、甘くて美味しいイチゴが食べ放題です。もちろん時間制限はありませんが（近年は都心からのアクセスが良くなったこともあり、観光イチゴ狩りは大盛況で、時期によっては入場制限を行うほどの賑わいを見せています。房州のイチゴは、昭和30年代後半には、味と品質日本一と言われ、高値で取引されていたそうです。しかも45年以上前から皇室にも献上されるほど、甘くて美味しいんです。館山の春はもうすぐそこまで来ますよ！休日に館山の視察を兼ねて、春を先取りしに来ませんか？

早速おせっかいを焼いて参りました！

先日、大手町で行われた「ふるさと回帰フェア」に館山市と一緒に「おせっかいメンバーも参加いたしました。そこで出会った、佐藤ご夫妻の移住下見を



「おせっかい」させて頂きました。「小規模の農業をしてみたい」とのことでしたのでさっそく「おせっかい」メンバーの安西農園、安西君

邪魔してみました。当日は台風一過のすばらしいお天気に恵まれ、館山の一番辛い日と一番素晴らしい日を体験できた下見にはもってこいの「コンディショニング」。僕はすくなくともそう思います。(安西農園では農家の暮らしの様子から栽培する作物のことなど約1時間にわたり説明をつけて頂きました。ご夫妻は、将来自分たちの分とお孫さんに食べさせる分のお米なども作ってみたいとのこと。現場の安西君の話に興味津々。その後、平砂浦地域から布良、相浜の海辺の地域を少しご案内して今回の下見を終えました。次回は年内中に・のご希望で、館山をだいたいお気に召したこ



様子。お二人の移住が幸せな物になるよう引き続きおせっかいをやかせていただこうと思えます。

移住者インタビュー

憧れた漁師生活(前編)

太平洋の荒々しい布良の海へと、漁船で一人立ち向かっていく男性、その方の名前は渡辺さんと言います。この方も、館山に移住されてきた一人だ。横須賀で二十一年間、ラーメン店を経営していた渡辺さんは小さい頃から「漁師になりたい」という夢を持っていた。この館山への移住、漁師になるという夢を実現したきっかけはというと、「ゴルフをしに館山に来たときに泊まった民宿「こみさき館」から始まる・・・

ゴルフが好きな渡辺さんは館山を訪れるたびにこの「こみさき館」を宿として利用していた。

その若旦那で、おせっかい隊員である八代さんとの出会いが渡辺さん第2の人生への始まりだった。何気ない会話の中で渡辺さんが「オレは漁師になりたいんだよね・・・」と八代さんに打ち明けたところ、「うん・・・難しいかもしれませんが、なら紹介しますよ!」と地元の漁協を紹介してもらい、千葉県で漁師の後継者を募集していたこともあり、とんとん拍子で漁師への道が開けたかにみえた。

しかし、渡辺さんには心配事があった。それは「住む場所」だ。渡辺さんは非常に布良という地区の景色が気に入っていた。「国道から布良に入るとガラツと景色が変わるんだ」と言う。確かに国道から布良に入ると、目の前には太平洋が広がり、昔懐かしい漁村風景が眼下に広がる。「やっぱり住むならこの布良に住みたいんだよねあ・・・」ただ、布良には住む場所(空き家)がなかった。

その後、渡辺さんはどうしたかと言つと・・・続きは次号にて!

館山市長が語る 館山の魅力

先日、館山市長金丸謙一氏に、市長の目からみた「館山の魅力」を語っていただき、移住をお考えの皆様へ歓迎のメッセージを届けさせて頂こうと、お時間を頂きました。

館山市役所市長室にて・・・

館山のイメージを教えてください



市長 大きく3つあります。1つ目は「気候」です。1年を通じて暑すぎず寒すぎずの温暖な気候ですの、と

ても住みやすいです。春はいたるところに花が咲き乱れ、夏は青い海が輝き、秋は祭りで賑わい、冬は空気が澄んで海の向こうにきれいな富士山が見えるという、とても素晴らしいまちです。2つ目は「海岸線」です。31.5キロの海岸線のうち、約半分は太平洋に面した荒々しい海、残りの半分は東京湾に面した穏やかな海です。この海岸では釣りは勿論のこと、ヨットやウィンドサーフィン等全てのマリンスポーツに1年を通じて対応できる数少ない市のひとつだと思っています。また、海が近いと台風などの災害が多いのではないかと考えられますが、意外にも館山市は災害の少ないまちだと思います。消防の面では、広域消防の安房消防本部があり、地元消防団もしっかりと確立されています。万が一の場合でも安心して過ごせるまちであると確信しています。3つ目は「人」です。館山市は海の人(漁業)、山の人(農業)がうまく融合したバランスのとれたまちで、市民は人情があり、エネルギーに満ち溢れています。そのエネルギーをもらってこのまちをもっともっと素晴らしい

まちにしていきたいと考えます。また、地域特有の方言「房州弁」は、最初に聞くと「怒ってる?」と思われるがちですが、とても温かみのある方言ですので、勘違いしないで下さいね(笑)

市長は以前塾の先生だったそうですが、子育てについてどう思われますか?

市長 子育てするにはとても良い環境だと思います。私は子供は自然が育てる」と思っています。館山には海があり山があり、豊かな自然がある素晴らしいまちです。ぜひこの館山に住んで自然の中で子供を育て、やがて世界に羽ばたいていつも戻りたいと思います。

市長は大変多趣味とお聞きしますが、関わってこられたサークル活動などについて教えてください

市長 関わってきたサークルは、絵画、英会話、囲碁、詩吟、短歌、俳句、お話会などです。また、各地区には公民館があり、そこではフラダンス、社交ダンス等の運動系のサークルから、日本画、ハンドクラフトなどの文芸系サークルまで、色々な市民サークルがあり活動も盛んです。これらのサークルを有効に活用して、地域の人々と「コミュニティ」を築いていただければ、とても楽しい生活が送れると思いますよ。

最後に、移住をお考えの方にメッセージをお願いします。

市長 館山市は太平洋を流れる黒潮のおかげもあり、温暖で海の青や山の緑が調和したとても美しく住みやすいまちです。都心から車で2時間圏内、2拠点居住にも適しています。また、由緒ある神社やお寺もあり、新鮮な海の幸を使った「寿司のまち」としても有名です。是非一度この館山を実際に訪れて肌でこのまちの良さを実感していただき、移住候補地のひとつとして検討をいただきたいと思います。市民を上げて心より歓迎いたします。